

事業概要 【大蔵村水道施設クラウド監視設備導入事業】

自治体名	山形県大蔵村	人口	2,760人	事業費	69,260千円
------	--------	----	--------	-----	----------

事業概要
 本村が運営する簡易水道のうち、四ヶ村・金山地区は山間部に位置し役場からの移動距離も長いため、異常時の対応に遅れが生じる。また、村の中心部の清水合海地区は遠方監視装置がなく、異常の通報があってから現地で現状を確認しなければならず対応が遅れてしまう。本事業でクラウド化することにより施設の遠方監視・制御による異常の早期発見・対応が可能となる。加えて住民サービスと連携を行うことで、安心・安全なライフラインの確保を図る。

具体サービス

【遠隔での施設制御・運転状況確認】

- クラウド監視設備の導入による水道施設の一元管理を行うことで、職員のPC・スマートフォンを通して24時間体制のリアルタイム施設監視・施設遠隔制御が可能となり、被害リスクの低減を図ることができる。

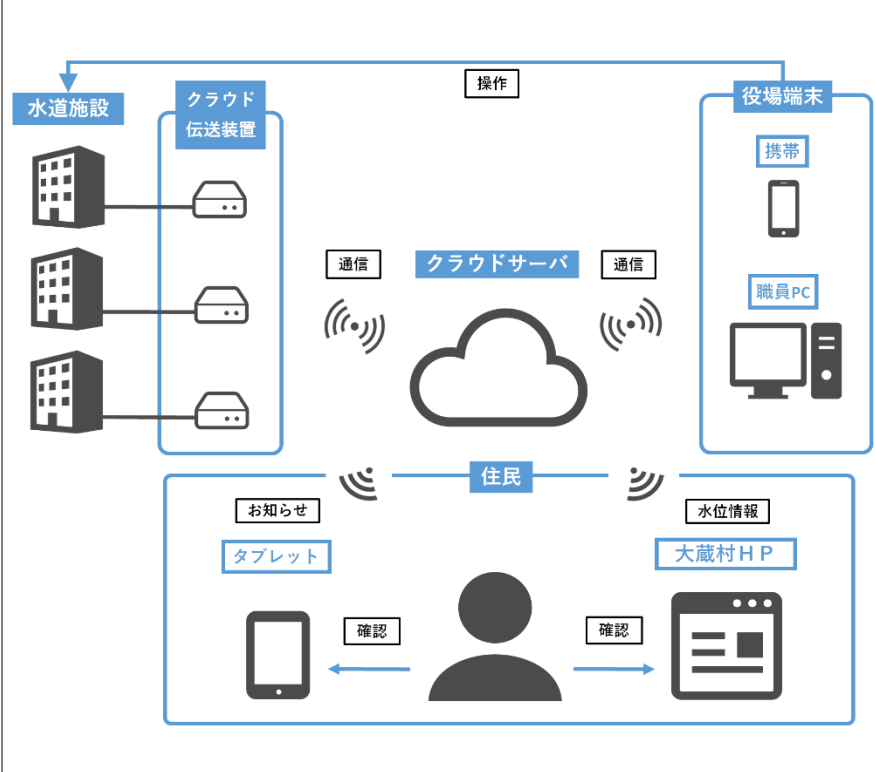
【水位情報の共有】

- クラウドデータを活用し、配水池水位や配水流量をホームページに掲載することで、現在の状況を住民と共有することができる。

【防災アプリ「くらっち」※を活用した通知の配信】

- クラウドデータと防災アプリ「くらっち」を連携し、配水池の水位が一定の値を下回った場合において、その影響を受ける地区に向けて節水等のお知らせを配信する。

※防災アプリ「くらっち」を活用した通知の配信
 令和3年度より村内の防災情報の発信や地区回覧のデータ配信等への活用を目的に全世帯防災アプリ「くらっち (@InfoCanal)」をインストールしたタブレットを配布。防災情報やお知らせ、地区回覧等を配信している。



主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】	【アウトカム指標（成果指標）】
	①インフォカナルの通知既読割合(%) ②導入地区における職員の現場出勤回数(回)	①年間総配水量のうち、年間総有収水量割合(%) ②住民の満足度(ポイント)